

第63回社会を明るくする運動・街頭広報活動 7月1日、JR和歌山駅頭で226名が活動！

きいちゃん・紀ノ国戦隊紀州レンジャー・紀州レンジャーズもお手伝い



▲慣れない手つきで声掛け・紀州レンジャーズ



▲笑顔いっぱい。「おばちゃんありがとう」



いってらっしゃい。
只今「社会を明るくする運動」の
街頭広報活動中です。
僕も立ち直りを支える社会に賛成
です。

今年から、市役所庁舎に
「社明強調月間」の横断幕を設置
広く市民にPR!



左：小林保護観察所長より大橋市長へ法務大臣メッセージ伝達。
右：知事メッセージを市長に伝達した後、挨拶する「社明大使」桂枝曾丸さん。

▲最後まで熱心に聞き入る参加者。きいちゃん、紀州レンジャーも一緒。
知します。

主

人はみな、生かされて、生きてゆく。

更生保護

サポートセンター 和歌山

和歌山市8番丁4
和歌山保護司会
更生保護サポートセンター和歌山
発行者 和歌山保護司会会長
編集 企画調整保護司
073-460-9298

街頭広報の後「わか地下広場」で
メッセージ伝達式を開催する。

去る7月1日、和歌山市社明推進委員会主催による「第63回社会を明るくする運動」街頭広報活動が実施、併せてメッセージ伝達式が開催されました。当日は大橋建一市長、山田好雄市議会議長を始め関係部署より17名、小林保護観察所長以下11名、保護司会から117名、更生保護女性会より52名、その他BBS会長、市保護観察協会、市推進委員の3団体代表並びに県より青少年課・男女共同参画課4名、薬務課2名、県警本部及び東警察署から3名。更に「社会を明るくする大使」の桂枝曾丸さんから総勢226名が参加された。伝達式終了後、犯罪予防部委員らの手で市役所正面玄関2階テラスに社明横断幕を設置し、月間中広く市民に周知します。

第63回社会を明るくする運動 東支部各地域で 啓発活動実施作戦会議開催

東支部では、地域活動の一環として支部内の各地域を紀ノ川より北側を河北地域・南側を河内地域・旧市内中心部を中地域と活動範囲を分担しています。今年も「地域啓発活動実施作戦会議」を6月21日に三地区で開催されました。出席者は、担当地区の保護司・近隣の更生保護女性会会員・協力雇用主会の皆さま方です。



《地域啓発活動実施作戦会議》話し合われた内容は、①7月1日のJR和歌山駅街頭広報活動の開催要領説明 ②社明強調月間中のJRきのくに線・和歌山電鉄貴志川線各駅頭での街頭啓発活動 ③地域内学校での夏祭り・神社等での夏祭り・地元での盆踊り・授産施設での祭り等の啓発活動について等々。

配布物品にも「工夫」「手作りシール」を貼付

8月1日より
「更生保護サポートセンター」が
新体制でスタートしました。

○月曜から金曜日・朝10時から午後4時まで
駐在しています。お気軽にお立ち寄りください。

○和歌山保護司会の事務局も移動しました。
〒640-8157 和歌山市八番丁4番地
八番丁館3階

人はみな、生かされて、生きてゆく

『やり直せる
社会に、
賛成です』

社会を明るくする運動和歌山市推進委員会
和歌山保護司会東支部

▲啓発物品に貼る手作りシールの一例
呼びかける標語は、会員からも募集します。

啓発用配布物品は「うちわ」「ウェットティッシュ」「ボールペン」を用意しました。また名入れたものは高価ですからオリジナルの「手作りシール」を作成。一つひとつに心をこめて貼り付け、「出番・居場所・それを支える」ことを呼びかけることにしています。

なお、購入資金は年度当初に会員から集める会費と国庫金・保護司会活動費（一般地域活動費）で賄っております。